

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：北海道開発局建設部道路計画課
担当課長名：高松 泰

事業名	主要道道 美唄富良野線	事業区分	地方道	事業主体	国土交通省 北海道開発局																		
起終点	自：北海道美唄市東美唄町常盤台道有林岩見沢経営区56林班 至：北海道芦別市上芦別町国有林上芦別事業区1224林班			延長	19.0km																		
事業概要	<p>美唄富良野線は美唄市から富良野市に至る延長約5.3kmの主要道道である。このうち美唄市東美唄町を起点とし、芦別市上芦別町を終点とする延長1.9kmの区間が開発道路に指定されている。</p> <p>本路線の整備により、南空知地域と上川南部地域の短絡ルートが形成され、農産物流の支援、観光アクセス向上等に寄与する。</p>																						
S62年度事業化	H - 度都市計画決定	H元年度用地着手	H元年度工事着手																				
全体事業費	約250億円	事業進捗率	33%	供用済延長	3.0km																		
計画交通量	1,720台/日																						
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">B / C (事業全体)</td> <td style="width: 20%;">1.4</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>2.3</td> </tr> </table>	B / C (事業全体)	1.4	(残事業)	2.3	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総費用 (残事業)/(事業全体)</td> <td>115/187億円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>102/172億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>13/ 15億円</td> </tr> </table>	総費用 (残事業)/(事業全体)	115/187億円	事業費	102/172億円	維持管理費	13/ 15億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総便益 (残事業)/(事業全体)</td> <td>265/265億円</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>249/249億円</td> </tr> <tr> <td>走行費用減少便益</td> <td>15/ 15億円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>2/ 2億円</td> </tr> </table>	総便益 (残事業)/(事業全体)	265/265億円	走行時間短縮便益	249/249億円	走行費用減少便益	15/ 15億円	交通事故減少便益	2/ 2億円	基準年	平成15年
B / C (事業全体)	1.4																						
(残事業)	2.3																						
総費用 (残事業)/(事業全体)	115/187億円																						
事業費	102/172億円																						
維持管理費	13/ 15億円																						
総便益 (残事業)/(事業全体)	265/265億円																						
走行時間短縮便益	249/249億円																						
走行費用減少便益	15/ 15億円																						
交通事故減少便益	2/ 2億円																						
感度分析の結果	<p>事業全体について感度分析を実施</p> <p>交通量変動 : B/C=1.6 (交通量+10%) B/C=1.3 (交通量-10%)</p> <p>事業費変動 : B/C=1.3 (事業費+10%) B/C=1.5 (事業費-10%)</p> <p>事業期間変動 : B/C=1.2 (事業期間+20%) B/C=1.6 (事業期間-20%)</p>																						
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの構築（現道等における交通不能区間を解消する） 個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される） <p style="text-align: right;">他5項目に該当</p>																						
関係する地方公共団体等の意見	<p>美唄市を始めとする関係10市16町1村の首長で構成される北海道空知地方総合開発期成会より毎年事業促進の要望を受けている。</p>																						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> 平成10年、芦別～富良野間を結ぶ富芦道路開通。 空知地域の炭鉱跡地施設群が平成13年に「北海道遺産」に選定される。 																						
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>平成6～15年度までにL=3.0kmを北海道へ引き継いでいる。</p>																						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>引き続き事業を進め、平成20年代前半の引き継ぎを目指す。</p>																						
施設の構造や工法の変更等	<p>再生骨材の活用、耐候性鋼材の使用によるライフサイクルコストの縮減、補強土壁の採用等によりコスト縮減を図っている。</p>																						
対応方針	事業継続																						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。																						
事業概要図																							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。